



**転** 送機による移住プロジェクトを取り仕切る超国家機関「星良会」は、何者かに壊された日本の「第三転送機」管区の人々への救済策として「特待生制度」を設け、優秀な学生とその家族を東京の「第一転送機」へと優先的に案内していた。



**た** が不幸にも列車はテロに遭い、人々が次々と銃殺される。窮は美えた木刀で立ち向かうも、命の危機に瀕する。死を覚悟したその刹那、「装甲皇良体」が現れ、テロリストを一掃打尽に。窮は命を取りとめ、パイロットの重臣と出会った。

これさえ読めば……

シンギュラー

第1話 ダイジェスト

**巨** 大隕石群の衝突により、冬の星となった2035年の地球。さらなる未来に起こる隕石衝突を予測した人類は、滅亡回避のため「転送機」を世界各地に建造した。その時から、地球型惑星「アーストリア」通称「楽園」への移住が始まった。



**主** 人公・保科 昂は孤児である自分の人生を自ら切り拓くため、楽園を目指していた。特待生に選ばれた昂は、育ての親であり剣術道場の師匠でもある最愛の“爺ちゃん”に別れを告げ「第一転送機」へと向かう「星良会」専用列車に乗り込む。



大注目御礼! ヤンマガ発新世代作家、急速進化中!!

青木 優

Aoki Yuu presents

敵とも味方とも知れぬ

圧倒的な異形の化け物。

敵の武器はまだ

進み意志と本刀しかない。

激戦  
“新世界系”  
バトルSF

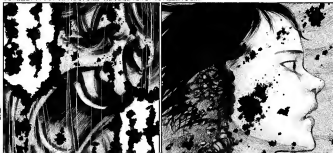
シンギュラ

S I N G U L A R

第2話 Ash to Ash



●「おれは、この世に生まれてから死ぬまで、何一つ後悔したことがない。それは、俺が一生懸命生きてきたからだ。」





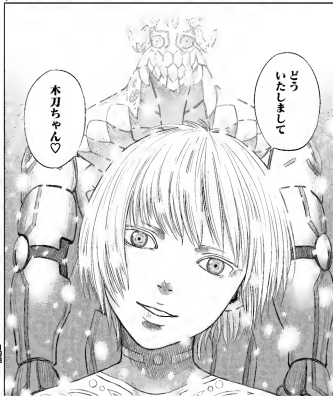


助けてくれて  
ありがとう……

……  
札がまだ  
だった……



タフだね



どう  
いたしまして

木刀ちゃん♡



「この世界で最も  
楽園に近い人間さ」



どういう……  
意味だ……？

楽園……  
アーストレアへの  
移住が始まってもう  
十数年になる……

今さら  
近いも何もない……

それとも……  
他の何か……









ありがとう

キミのおかげで  
ボクたちは  
助かった……



いや  
私は……！  
装甲星  
辰体が  
……

！



こんなことを  
言うのは  
不謹慎だっ  
てわかってる……

でも……  
生き残れて  
嬉しいんだ……



……



転送機は  
通常物質を  
超高速物質化  
すること

超高速移動を  
可能に  
しています

行き先はもちろん  
私たちの太陽系から  
1200光年  
先にある……

地球型惑星  
アーストレア  
そう……  
楽園です！

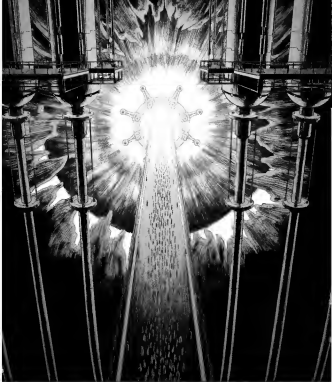


温暖な気候  
豊かな自然

ここには  
現在の地球が  
失ってしまった  
姿があります

プロジェクトの  
発足以来  
世界で16億人  
日本から2千万人が  
この楽園に  
移住しています





爺ちゃん

行つてきます

……





世

JULAR

世

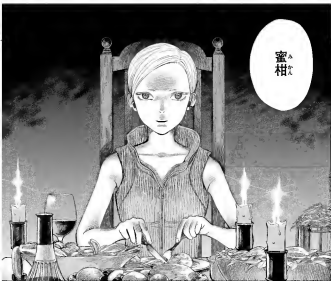
一

世

SINGU









彼らの中の  
一人が転送機に  
不感応だった……

先日オマエが助けた  
転送機難民の  
特待生たちだが……



そうだ  
オマエと  
同じ……

特異点だ



すばる  
昂だ



ねえ灯谷……

昂<sup>たか</sup>は  
ボクより  
強いかな……？

保料器<sup>ほりょうき</sup>にも  
利用価値はある  
……

だがあくまで  
事を成すのは  
オマエだ

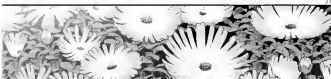


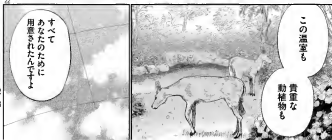
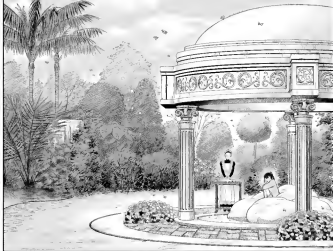
もし昂<sup>たか</sup>が  
ボクより  
強かったら……

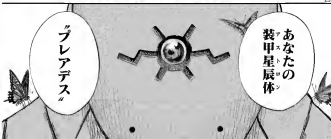
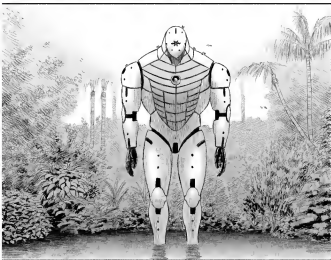
ぐしゃ……

ボクはなんの  
価値もない  
ゴミクズだね……














適合が  
始まっている  
問題ないな……

お疲れさま  
もう降りて  
いいですよ



……そろそろ  
説明をしてほしい  
……！



キミは、特異点。  
として選別された

アーストレアに  
行くことは  
できない



楽園に……  
行けない  
……？

特異点……？  
なんですか  
それは……？

……  
そうだな……



とりあえずは  
装甲・星・辰体の  
パイロットのことだと  
思ってくれればいい



特異点のことは  
機密でキミは  
アーストリアに  
行ったものとして  
記録される

つまり  
元の生活に  
戻ることはできない



そんな  
……!!

私は楽園に  
行くために  
ここまで……  
それなのに……



運命という  
ヤツだ

受け入れ  
なさい







そうだ

ボク・の・楽園を  
目指す

ボクは

「運命というヤツだ  
受け入れなさい」



運命と諦める  
くらいなら

最初からここまで  
来たりはしない  
.....!!



私の……  
楽園……!!



特異点……

その路を  
どう歩くかは  
私が決められ  
るんだ……



ていうか



え……?



特異点じゃ  
なかったら

昂<sup>きよう</sup>  
死んでたし!!



この宇宙に  
樂園はない

アーストレア  
なんて  
存在しないんだ





……はは  
ウソだ

それじゃあ  
星辰会<sup>せいしんかい</sup>は  
ずっと……

人々を騙して  
犠牲<sup>ぎせい</sup>にしてた  
ことになるじや  
ないか……!!

そう！ 特異点<sup>とくいてん</sup>を  
選別<sup>せんべつ</sup>する過程で  
これまで十数億の  
人間が犠牲になった

そしてそれは  
これから……

ウソだ!!

狭き門より入れ

あ……

滅びに到<sup>いた</sup>る  
門は大きく  
その路は広く

之<sup>これ</sup>より入る者多し

命に到る門は狭く  
その路は細く

之を見出す者少なし



転送機は



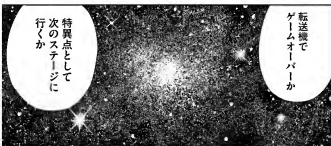
言葉だけじゃ  
証明しようが  
ないね……

よしわかった！









この世界は  
自分で路を  
切り開けない  
グズばかりだ

昂<sup>たけ</sup>は  
どうかな？

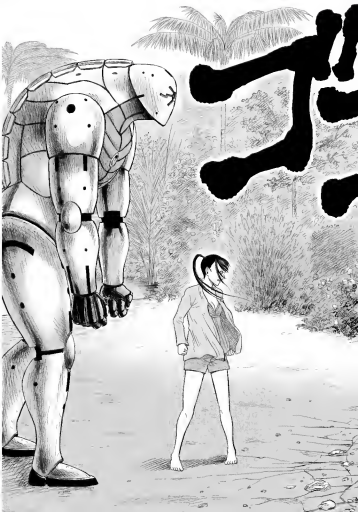
それでも  
どこへ行くかは  
決められる

プレアデス











キツイよ……



その路は

精神と肉体のすべてを知る豪傑は  
容赦なく命を狙う!!

超・圧倒的実力差を覆せるのか?!